※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　理科

科目	物理基礎	単位数	2
使用教科書	改訂　新編物理基礎　（東京書籍）		
副教材等	なし		

	前期	後期
単位	１単位	１単位
レポート	３通	３通
必要出席回数	４回	４回
テスト	○	○

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 運動と力の関係、エネルギー等、物理の基本法則を学びます。また、電磁波や放射線など、健康とかかわりが深いことについても、物理の見方で考えます。
- レポートには教科書の内容を書きだすものと計算問題があります。
- テストは、主にレポートから出題しますが、計算問題もたくさん出てきますので、一定以上の計算力が必要ですので、ご注意ください。

２　学習の到達目標

科学的な観察眼とし思考方法を養い、物理学的に探究する能力と態度を育む。
① 物理学における基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を持つ。
② 物理的な事物・現象についての観察・実験を行い、物理学の基本的な概念や原理、法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。
③ 日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、物理学的に探究する能力や態度を身に付ける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	物体の運動やエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 物体の運動と様々なエネルギーに関する観察、実験などを通して、探求の過程をふまえた考察、記録、表現できる技能を身につけている。	物体の運動と様々なエネルギーに関連する事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物体と様々なエネルギーについて関心をもち、意欲的に探究しようとする。

- 学習指導要領（第１章第２款の５）に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除（面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除）の制度を活用する。
- 学期末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法 知(a)	評価方法 思(b)	評価方法 主(c)
前期	物体の運動と力	速さと速度 等速直線運動 等加速度直線運動 力について 運動の法則 落体の運動 日常に潜む力	a: 物体の運動と力の関係や現象を理解し、定性的に表すことができる。 b: 物体の運動と力の関係や現象を理解し、計算等を用いて定量的に表現できる c: 物体の運動と力の関係を、主体的、計画的に学ぼうとする態度が見られる。	・定期考査・メディア学習（学習報告書）	・定期考査・メディア学習（学習報告書）	・レポート・スクーリング・メディア学習(学習報告書)
	仕事と様々なエネルギー①	仕事とエネルギー 力学的エネルギー	a:仕事とエネルギーについての概念と現象、それらの関係性を理解し、定性的に表すことができる b: 仕事とエネルギーについての概念と現象、それらの関係性を理解し、計算等を用いて定量的に表現できる。 c: 仕事とエネルギーについて、主体的、計画的に学ぼうとする態度が見られる。			
後期	仕事と様々なエネルギー②	熱エネルギー 熱と仕事 波	a:熱や波とエネルギーについての関係性と現象を理解し、定性的に表現できる。 b: 熱や波とエネルギーについての関係性と現象を理解し、計算等を用いて定量的に表すことができる c: 熱や波とエネルギーについての関係性と現象を主体的、計画的に学ぼうとする態度が見られる。	・定期考査・メディア学習（学習報告書）	・定期考査・メディア学習（学習報告書）	・レポート・スクーリング・メディア学習(学習報告書)
	電気とエネルギー	電気 電気と磁気 原子とエネルギー	a: 電気や原子についての概念と現象、それらの関係性を理解し、定性的に表すことができる b:電気や原子についての概念と現象、それらの関係性を理解し、計算等を用いて定量的に表すことができる c: 電気や原子について主体的、計画的に学ぼうとする態度が見られる。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度